

「世界銀行」内部告発者が、グローバル・エリートの世界 支配を明かす

【訳者注】最初に断っているように、これは1年以上前に書かれた論文の再録である。推測だがこれは、今、不自然な、作られたものと思えないブームを呼んでいる『21世紀の資本』への異議申し立てではなからうか？ 筆者のスナイダーや、内部を知り抜いたカレン・ヒューデスのような英雄的な人々の、世界の中心の腐敗と不正に迫ろうとする仕事に対して、この流行の本は、偶然か意図的かはわからないが、同じ問題を追及するように見せかけて、red herring（追跡の途中で追跡者を脇道にそらす仕掛け）の働きをしているように思える。デイヴィッド・ウィルコックも“腐敗した権力横領者”を追及する一人だが、彼もこの2人も共通して、その追及を可能にした「スイス・チーム」の画期的な仕事に、多大の敬意を払っている。

この流行本は、ID（インテリジェント・デザイン）の台頭に対抗して書かれたと思われる、スティーヴン・ホーキングの、デザインを否定するための本に、The Grand Design という人を食った題をつけた者たちの存在を思わせる。

By Michael Snyder

Global Research, February 01, 2015



この記事は2013年9月30日に初めて発表されたものである。

Karen Hudes（ヒューデスがご本人の発音）はエール大学ロー・スクールの出身で、20年以上にわたり、世界銀行の法部門で働いた。実は、彼女が世界銀行内部の腐敗について内部告発をして、クビになったとき、主席弁護士の地位についた。

彼女は、グローバル・エリートたちが、どのようにして世界を支配しているかを正確に観察

するユニークな地位にいた。ヒューデスによれば、エリートたちはこの惑星を支配するのに、金融機関とメガ企業の非常に固いコアを用いている。



目標はコントロールである。彼らは我々すべてが、負債に縛られた奴隷であることを望んでいる。彼らは我々の政府のすべてが、負債の奴隷であることを望んでいる。我々の政治家のすべてが、自分の政治運動につき込まれる巨額の献金の、とりこになってくれることを望んでいる。エリートたちはまた、大きなメディア会社のすべてを所有しているから、主流メディアは決して、我々のシステムの働き方に、何か基本的な間違っただけのものがあるという秘密を、教えてくれることはない。

注意していただきたいが、これはいわゆる“陰謀論”ではない。これを言っているのは、エール大学を出て、20年以上も世界銀行の内部で働いていた弁護士だ。彼女の信任証明の次の要約は、彼女のウェブサイトから直接得たものである——

<http://kahudes.net/about-us/>

カレン・ヒューデスは、エールのロー・スクール（法科大学院）で法律を学び、アムステルダム大学で経済学を学んだ。彼女は1980–1985年、アメリカの米輸出入銀行で、1986–2007年、世界銀行の法部門で働いた。彼女は、アメリカ法曹界の国際法部門の非政府組織委員会、および国際法協会アメリカ支部の「国際組織相互交流および責任に関する委員会」を設立した。

今日、ヒューデスは、グローバル・エリートが世界の富をコントロールするために用いている、腐敗した金融システム暴くために、大変な努力をしている。ニュー・アメリカン誌とのインタビューで彼女は、エリート主義グループが、この惑星の資源を完全支配しようとするのを、いかに我々が進んで許しているかを論じた——

世界銀行の前インサイダー、前首席弁護士のカレン・ヒューデスは、グローバルな金融

システムが、私的に所有されている米連邦準備銀行のまわりに集まった、腐敗した、権力に飢えた者たちによって牛耳られていると言っている。そのネットワークは、自分たちの犯罪を隠すために、メディアの支配権をも握っている、と彼女は説明した。ニュー・アメリカン誌とのインタビューの中で、ヒューデスは、世界銀行における多くの問題について警鐘を鳴らそうとしたとき、その努力の代償として解雇されたと言った。現在、彼女は、仲間の内部告発者とのネットワークによって、腐敗を暴き終わらせる決意をしている。そしてその成功に自信をもっている。

学術誌 PLOS ONE に発表された、「地球的企業コントロールのネットワーク」に関する、爆発的な 2011 年のスイス・チームによる研究を引用しながら、ヒューズは、小さなグループの人々——ほとんどが金融機関で、特に中央銀行——が、国際的な経済に背後から強大な影響力を与えていることを指摘した。「現実には起こっているのは、世界の資源が、このグループによって支配されていることだ」と彼女は説明し、「腐敗した権力横領者たち」(corrupt power grabbers) は、メディアをも支配するようになった、と付け加えた。「彼らはそうすることをずっと許されているのである。」

<http://www.plosone.org/article/info%3Adoi%2F10.1371%2Fjournal.pone.0025995#s3>

以前に私は、ヒューデスが挙げているスイスの研究について書いたことがある。それは、スイスのチューリッヒにある、Swiss Federal Institute of Technology の研究者チームによって行われた。彼らは、世界中の 3,700 万の会社や個人投資家たちの間の関係を研究した。そして発見したのは、たった 147 だけの非常に緊密に結びついたメガ企業の“スーパー実体”があって、この者たちが地球経済全体の 40 パーセントをコントロールしている、ということだった。http://www.newscientist.com/article/mg21228354.500-revealed--the-capitalist-network-that-runs-the-world.html#.Ud5_NvmL3nj

この研究チームがさらに、所有関係の絡まりを解きほぐしてみると、その多くは 147 の、もっと緊密に結びついた会社の“スーパー実体”に遡れることが判明し、それらの所有権のすべては、このスーパー実体の他のメンバーによって保有され、それが、このネットワークの富全体の 40 パーセントをコントロールしていた。「要するに、これらの会社の 1 パーセント以下が、ネットワーク全体の 40 パーセントをコントロールしていたのだ」と、グラットフェルダーは言っている。そのほとんどは金融機関で、トップ 20 社の中に、バークレイズ銀行、JP モルガン・チェイス、ゴールドマン・サックス・グループが含まれていた。

しかしグローバル・エリートは、これらのメガ企業を統制しているだけではない。ヒューデスによれば、彼らはまた、地球上のほとんどすべての国の財政をコントロールする、選挙に

よらない、責任のない組織をも支配している。世界銀行、IMF、それに連邦準備銀行のような中央銀行たちは、文字通り、世界的にカネを創り、その流れを統制することができる。

<http://theeconomiccollapseblog.com/archives/25-fast-facts-about-the-federal-reserve-please-share-with-everyone-you-know>

このシステムの頂点にあるのが国際決済銀行で、それは中央銀行の中央銀行である。下のビデオでは、ヒューデスが [USAWatchdog.com](http://www.youtube.com/watch?v=gHVgRgYdCsQ) の [Greg Hunter](http://www.youtube.com/watch?v=gHVgRgYdCsQ) に、次のように言っている—
<http://www.youtube.com/watch?v=gHVgRgYdCsQ>

我々は、誰かが Fed (連邦準備) や国際決済銀行のクビ切りをするのを、待つ必要はありません。…いくつかの国家はすでに、銀や金、貴金属などを、通貨として認め始めています。

(訳者) このビデオの下の説明が参考になる——カレン・ヒューデス：我々には時間が残されていない！ ここで扱っているのは、我々が人類として生き残れるかという問題だ——世界銀行の内部告発者カレン・ヒューデスは、これはお金についての争いではない、地球の存続の問題だと言う。「我々が扱っているのは、人類として生き残り、地球をもつことができるか、それとも自爆するかという問題、…互いに愛し合って世界を救うことができるか、それとも我々すべてが、ひとからげに地獄へ落ちるかという問題です」とカレンは言っている。…

ほとんどの人々は、国際決済銀行 (Bank for International Settlements) など聞いたこともないだろうが、これはきわめて重要な組織だ。以前の論文で私は、この“世界の中央銀行”が、すべての国民政府の法規制を文字通り免除されていることを説明した——

<http://theeconomiccollapseblog.com/archives/who-controls-the-money-an-unelected-unaccountable-central-bank-of-the-world-secretly-does>

ほとんどの人々が聞いたことさえない、絶大な力をもっている国際的組織が、ひそかに地球全体のカネの供給をコントロールしている。それは「国際決済銀行」と呼ばれていて、中央銀行の中央銀行になっている。それはスイスのバーゼルにあるが、香港とメキシコにも支店をもっている。それは本質的に、選挙されたものでない、責任のない世界の中央銀行で、税金からも国家の法律からも、完全に免除されている。ウィキペディアでさえ、「それは、どんな一つの国民政府に対しても責任がない」ことを認めている。

http://en.wikipedia.org/wiki/Bank_for_International_Settlements

国際決済銀行は、第二次大戦中は、ナチスのために、マネー・ロンダリングするのに利用されたが、最近では、BIS の主たる目的は、中央で計画されたグローバルな金融シス

テムを、導き指令することである。今日、58のグローバル中央銀行が BIS に所属して、それは、アメリカ経済が（その点ではどこの経済でも）次年度期間中にどのように活動するかについて、どんな政治家よりも、はるかに大きな力をもっている。2カ月に一度、世界の中央銀行家たちがバーゼルに集まり、また一つ“グローバル経済会議”を行う。これらの会合の間に、この地球上のすべての男、女、子供に影響を与えるが、誰一人として行われていることに口を出せない、決定がなされる。国際決済銀行は、グローバル・エリートによって創設された機関であり、グローバル・エリートのために働いている。そしてそれは、やがて出現する一つの世界経済システムの、かなめ石の一つになるように意図されている。

このシステムは偶然に生じたものではない。実は、グローバル・エリートたちは、このシステムを長い時間をかけて育ててきたのである。「誰が世界を経営しているか？ 富裕なエリート主義者の核心グループがひもを引っ張っている確固たる証拠」という以前の論文で、私は、ジョージタウン大学の歴史教授 Carroll Quigley の著書から引用している。これは彼はるか昔の1966年に書いたもので、エリートたちが抱いていた、国際決済銀行設立の大きな計画のことを論じている——

<http://theeconomiccollapseblog.com/archives/who-runs-the-world-solid-proof-that-a-core-group-of-wealthy-elitists-is-pulling-the-strings>

金融資本主義の権力者たちは、もう一つの遠大な目標をもっていた。それは、金融コントロールの世界的システムを創って、個人の手握り、各国の政治制度と、全体としての世界の経済を支配することだった。このシステムは、一致して行動する世界の中央銀行が、しばしば私的な集会や会議を行って得た密かな合意によって、封建制度のように統制されるべきものだった。このシステムの頂点は、スイス、バーゼルの国際決済銀行——それ自体、私的企業である世界の中央銀行が、所有し統制する私的銀行——になる予定だった。

そして、まさにその通りのものが今日できている。

我々が持っているのは、我々すべてと我々の国民政府が、負債の奴隷になるような“ネオ封建制度”である。この制度は、中央銀行と国際決済銀行によって統治され、それは組織的に、我々の手から世界の富を奪って、グローバル・エリートの手へ渡すようになっている。

<http://theeconomiccollapseblog.com/archives/debt-levels-are-skyrocketing-to-extremely-dangerous-levels-how-long-can-this-possibly-keep-going>

しかし、ほとんどの人々は、こんなことが起こっているとは夢にも知らないでいる。なぜな

ら、グローバル・エリートは、我々が見、聞き、考えることまで、コントロールしているからだ。今日、巨大メディア企業は6つだけで、それらが、あなたがアメリカのテレビで見るニュースや娯楽番組の、90パーセント以上を支配している。

<http://theeconomiccollapseblog.com/archives/who-runs-the-world-solid-proof-that-a-core-group-of-wealthy-elitists-is-pulling-the-strings>

これこそ、カレン・ヒューデスが暴こうとしている陰險なシステムである。更に詳細は、Power Hour の Joyce Riley が、彼女に1時間にわたってインタビューしたものを、ここで聴くことができる。

<http://archives2013.gcnlive.com/Archives2013/sep13/PowerHour/0926132.mp3>